

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

表2 CKDのステージと診療計画

病期 ステージ	重症度の説明	推定GFR値 mL/min/1.73m ²	診療計画 Clinical action plan	関与の 度合い
0	リスクが増大した状態	≥90 (CKDのリスクファクターを有する状態で)	—スクリーニング —CKDリスクを軽減させる治療	かかりつけ医 腎臓専門医
1	腎障害 (+) GFRは正常または亢進	≥90	上記に加えて —CKDの診断と治療の開始 —合併症 comorbidity の治療 —CKD進展を遅延させる治療 —CDVリスクを軽減させる治療	
2	腎障害 (+) GFR軽度低下	60~89	上記に加えて 腎障害進行度の評価	
3	腎障害 (+) GFR中程度低下	30~59	上記に加えて CKD合併症を認識し治療する (貧血、血圧上昇、経院性上皮小体腎臓亢進症、など)	
4	腎障害 (+) GFR重度低下	15~29	上記に加えて 透析・移植を準備する	
5	腎不全	<15	透析または移植の導入 (もし医療症の状態があれば)	



日本慢性腎臓病対策協議会

Japan Association of CKD Initiative

構成団体
日本腎臓学会 / 日本透析医学会 / 日本小児腎臓病学会

オブザーバー
日本腎臓財団 / NPO法人腎臓病早期発見推進機構

賛同団体一覧
日本医師会 / 日本内科学会 / 日本糖尿病学会 / 日本循環器学会 / 日本高血圧学会 / 日本動脈硬化学会 / 日本痛風・核酸代謝学会 / 日本肥満学会 / 日本泌尿器学会 / 日本臨床腎移植学会 / 日本小児腎不全学会 / 日本腎不全看護学会 / 日本薬剤師会 / 日本腎と薬剤研究会 / 日本人間ドック学会 / 日本臨床衛生検査技師会 / 日本臨床検査医学会 / 日本臨床化学会 / 日本臨床検査自動化学会 / 日本病態栄養学会 / 日本栄養改善学会 / 日本病院薬剤師会 / 日本産業衛生学会 / 全国腎臓病協議会 / NPO法人腎臓サポート協会

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

—CKDは日本人の健康を脅かす重大な脅威—

透析、心臓血管障害、死亡の重大リスクである慢性腎臓病 (CKD) を考えるパネルシンポ

- 平成18年3月11日 (日) 午後1時~5時
- 財団法人主婦会館フアラザエフ (東京都千代田区六番町)
- 日本人の健康を脅かす脅威となっている慢性腎臓病の実態と対策を考えるイベント
- 世界腎臓デー (World Kidney Day) と連携して開催

主催：日本慢性腎臓病 (CKD) 対策協議会

ストップ・ザ・腎不全 慢性腎臓病 (CKD) 対策を考える講演会

開会の挨拶： 斎田 明 (日本慢性腎臓病対策協議会 理事長)
挨拶： 黒川 清 (政策研究大学院大学)
酒井 紀 (日本腎臓財団理事長)
唐沢 祥人 (日本医師会会長) 鈴木 潤 (会長代理・常任理事)
油井 清治 (全国腎臓病協議会会長)

- 慢性腎臓病対策の疫学 今井 圓裕 (大阪大学)
- 医療経済的側面からみた慢性腎臓病 山藤 邦弘 (筑波大学)
- 慢性腎臓病の診療 内田 俊也 (帝京大学)
秋澤 忠男 (昭和大学) 上村 治 (あいち小児保健医療総合センター)
- 慢性腎臓病対策を推進するために
日本CKD対策協議会 市川 家國 (東海大学)、榎野 博史 (岡山大学)
日本医師会 鈴木 清 (常任理事)、日本高血圧学会 石光 俊彦 (獨協医科大学)
日本循環器学会 島本 和明 (札幌医科大学)
日本糖尿病学会 羽田 謙計 (旭川医科大学)
人間ドック学会 原 茂子 (虎ノ門病院)
腎と薬剤研究会 長谷川 功 (中部労災病院)
- 国際的な慢性腎臓病対策と「世界腎臓デー」 塚本 延介 (秀和総合病院)
- Keep Japan について 高橋 進 (腎臓病早期発見推進機構理事長)
- 慢性腎臓病対策を進めるための行動宣言 松尾 清一 (名古屋大学)

開会の挨拶： 斎藤 明 (東海大学)

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

メディアも注目 ストップ・ザ・腎不全

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

【字野日報】 4/4

【朝日新聞】 3/19

【毎日新聞】 3/11

【化学工業日報】 3/2

【宮城日日新聞】 4/2

【日本海新聞】 3/30

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省